

	家庭基礎	家庭	普通科目	選択必修修	通年	2単位
履修上の注意	「家庭基礎」・「家庭総合」・「生活デザイン」のうち、いずれか1科目のみ必ず履修すること。2科目以上を履修することはできない。					
授業の目標・内容	1. 人の一生と家族・家庭及び福祉 <ul style="list-style-type: none"> ・青年期の自立と家族・家庭について学びます。 ・子供の発達と保育について学びます。 ・高齢期の生活について学びます。 ・共生社会と福祉について学びます。 2. 生活の自立及び消費と環境 <ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康について学びます。 ・被服管理と着装について学びます。 ・住居と住環境について学びます。 ・消費生活と生涯を見通した経済の計画について学びます。 ・ライフスタイルと環境について学びます。 ・生涯の生活設計について学びます。 3. ホームプロジェクト					
使用教材(費用)	教科書(1,000円程度)・自主作成教材と実習費(600円程度)					
評価規準・方法など	授業への取り組み状況、提出物、定期試験、実習課題のできばえなどにより、総合的に評価します。					
備考	「家庭基礎」は基礎的基本的な知識と技術を習得することを目標としています。調理実習や被服実習については、基本的なことのみ実施します。					
	家庭総合①	家庭	普通科目	選択必修修	通年	2単位
履修上の注意	「家庭基礎」・「家庭総合」・「生活デザイン」のうち、いずれか1科目のみ必ず履修すること。2科目以上を履修することはできない。 「家庭総合①(通年2単位)」・「家庭総合②(通年2単位)」を、この順序で連続する2年間で2単位ずつ、計4単位を履修すること。					
授業の目標・内容	1. 人の一生と家族・家庭 <ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と青年期の自立について学びます。 ・家族・家庭と社会について学びます。 2. 子どもや高齢者とのかわわりと福祉 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達と保育・福祉について学びます。 ・高齢者の生活と福祉について学びます。 ・共生社会における家庭や地域について学びます。 3. 生活の科学と環境 <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の科学と文化について学びます。 ・生涯の生活設計について学びます。 4. ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動					
使用教材(費用)	教科書(1,000円程度)・自主作成教材と実習費(1,200円程度) ※実習費は2年間で2,000円程度					
評価規準・方法など	授業への取り組み状況、提出物、定期試験、実習課題のできばえなどにより、総合的に評価します。					
備考	2年間かけて、生活課題を発見し、自ら解決していく能力を身につけ、総合的に習得することを目標としています。基本的なことを学ぶ「家庭基礎」の授業の内容をより詳しく学習し、実験や実習も多くなるので、学習内容が深められます。(家庭総合①・②の2年間の中で、被服製作実習・調理実習・高齢者疑似体験・保育疑似体験などの実技的・体験的授業が行われます。) ファッション造形基礎やフードデザインといった専門科目を選択する際、希望者多数で抽選となった場合には、家庭総合または生活デザイン履修者が優先されます。					
	家庭総合②	家庭	普通科目	選択必修修	通年	2単位
履修上の注意	「家庭総合①」を、履修済みであること。 「家庭総合①(通年2単位)」・「家庭総合②(通年2単位)」を、この順序で連続する2年間で2単位ずつ、計4単位を履修すること。					
授業の目標・内容	1. 生活の科学と環境 <ul style="list-style-type: none"> ・住生活の科学と文化について 住居についての基本的な知識と、ライフステージにあわせた安全で快適な住まいについて学びます。 ・食生活の科学と文化について 食事の役割、栄養素の働き、衛生と安全についての基本的な知識を学びます。 調理についての基本的な知識と技術を習得します。 ・消費生活と資源・環境について 家庭経済や消費生活に関する基礎的な知識を学びます。 2. ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について					
使用教材(費用)	教科書(1,000円程度)・自主作成教材と実習費(1,200円程度) ※実習費は2年間で2,000円程度					
評価規準・方法など	授業への取り組み状況、提出物、定期試験、実習課題のできばえなどにより、総合的に評価します。					
備考	2年間かけて、生活課題を発見し、自ら解決していく能力を身につけ、総合的に習得することを目標としています。基本的なことを学ぶ「家庭基礎」の授業の内容をより詳しく学習し、実験や実習も多くなるので、学習内容が深められます。(家庭総合①・②の2年間の中で、被服製作実習・調理実習・高齢者疑似体験・保育疑似体験などの実技的・体験的授業が行われます。)					

生活デザイン①		家庭	普通科目	選択必修	通年	2単位
履修上の注意	「家庭基礎」・「家庭総合」・「生活デザイン」のうち、いずれか1科目のみ必ず履修すること。2科目以上を履修することはできない。「生活デザイン①(通年2単位)」・「生活デザイン②(通年2単位)」を、この順序で連続する2年間で2単位ずつ、計4単位を履修すること。					
授業の目標・内容	<ol style="list-style-type: none"> 人の一生と家族・家庭および福祉 <ul style="list-style-type: none"> 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族や家庭生活のあり方、乳幼児と高齢者の生活と福祉について学びます。 人生の各ステージにおける課題を考察します。 衣生活の設計と創造 <ul style="list-style-type: none"> 被服の着装・制作・管理に関する知識と技術を習得します。 衣生活の安全・環境、衣文化についても考えます。 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について 					
使用教材(費用)	教科書(1,000円程度)・自主作成教材と実習費(1,200円程度) ※実習費は2年間で2,000円程度					
評価規準・方法など	授業への取り組み状況、提出物、定期試験、実習課題のできばえなどにより、総合的に評価します。					
備考	2年間かけて、知識と技術を体験的に習得し、生活課題を主体的に解決することを目的としています。「実験や実習」や「生活課題を解決させる」ことを多く取り入れて学習します。					
生活デザイン②		家庭	普通科目	選択必修	通年	2単位
履修上の注意	「生活デザイン①」を、履修済みであること。「生活デザイン①(通年2単位)」・「生活デザイン②(通年2単位)」を、この順序で連続する2年間で2単位ずつ、計4単位を履修すること。					
授業の目標・内容	<ol style="list-style-type: none"> 住生活の設計と創造 <ul style="list-style-type: none"> 住居の機能や計画に関する知識と技術を習得します。 環境に配慮した住生活を営むことについて考えます。 食生活の設計と創造 <ul style="list-style-type: none"> 栄養・食品・調理などに関する知識と技術を習得します。 食文化や安全と環境に配慮した食生活の問題についても考えます。 消費や環境に配慮したライフスタイル <ul style="list-style-type: none"> 家庭経済や消費経済に関する基礎的な知識を習得します。 賢い消費者として必要な知識を身につけます。 環境に配慮したライフスタイルについて考えます。 					
使用教材(費用)	教科書(1,000円程度)・自主作成教材と実習費(1,200円程度) ※実習費は2年間で2,000円程度					
評価規準・方法など	授業への取り組み状況、提出物、定期試験、実習課題のできばえなどにより、総合的に評価します。					
備考	2年間かけて、知識と技術を体験的に習得し、生活課題を主体的に解決することを目的としています。「実験や実習」や「生活課題を解決させる」ことを多く取り入れて学習します。					
ファッション造形基礎		(専門)家庭	専門科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「家庭総合①」「生活デザイン①」または「家庭基礎」を履修していること。					
授業の目標・内容	<p>被服の構成や材料など、被服製作に関する基礎的知識と技術について、被服製作実習を通して学びます。平面構成(和服)および立体構成(洋服)の被服製作、生活用品等の手工芸製作を、実習を中心にを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 被服の構成 被服材料 立体構成(洋服)製作の基礎 平面構成(和服)製作の基礎 					
使用教材(費用)	教科書(1,000円程度)・自主作成教材と実習費(7,000円程度)					
評価規準・方法など	授業への取り組み状況、作品の完成状況・進捗、小テストにより、総合的に評価します。					
備考	被服製作実習が中心の授業になるので、裁縫やミシン縫いで何かを作るのが好きな人を対象とした科目です。実習室の都合で人数制限があります。希望者多数の場合には抽選になりますが、その場合には卒業年次生および家庭総合・生活デザイン履修者を優先します。					

	フードデザイン	(専門)家庭	専門科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「家庭総合②」「生活デザイン②」または「家庭基礎」を履修していること。					
授業の目標・内容	<p>家庭総合②・生活デザイン②や家庭基礎で学んだ食生活分野の栄養・食品・献立・調理などに関する知識と技術について、実技(実習)・体験中心の授業によって、その内容をより深めていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と食生活 2. フードデザインの構成要素 3. フードデザイン実習 4. 食育と食育推進活動 					
使用教材(費用)	教科書(1,000円程度)・自主作成教材と実習費(3,000円程度)					
評価規準・方法など	授業への取り組み状況、提出物、定期試験、実習課題のできばえなどにより、総合的に評価します。					
備考	<p>講義だけでなく、調理・食品加工の実習・実験など、実践的・体験的活動を通して学習します。その際の実験・実習は、グループでおこないます。実習室の都合で人数制限があります。希望者多数の場合には抽選になりますが、その場合には卒業年次生および家庭総合・生活デザイン履修者を優先します。</p>					